

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 1 月 30 日作成)

小委員会名	景観小委員会	主 査 名：小林 敬一 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：小林 英嗣
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・「景観の計画的リビジョン」をテーマに景観向上のための計画論的再検討を行う ・2011 年度は、主に都市デザインとの関わりについて検討を行う ・学会大会における研究協議会の開催、同資料集の作成 ・景観ルックインの実施（「東京スカイツリーはまちをどう変えるか」） 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	小林敬一 (東北芸術工科大学)、志村秀明 (芝浦工業大学)、宇於崎勝也(日本大学)、浅野 聡 (三重大学)、阿部大輔 (東京大学)、岡田雅代 (おかだプランニングラボ)、嘉名光市 (大阪市立大学)、小林史彦 (金沢大学)、佐藤宏亮 (早稲田大学)、椎原晶子 (晶地域文化研究所)、野中勝利 (筑波大学)、原田栄二 (東北大学)、三宅 聡 (岩手大学)、宮脇 勝 (千葉大学)、中島直人 (慶応大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	景観研究史部会 ：景観研究の先駆者の実績や内外の景観研究の動向をレビューする	
2011 年度予算	340,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 景観ルックイン（「東京スカイツリーはまちをどう変えるか」、見学会ならびにミニシンポジウム）8 月 22 日 (オリエンテーリング用地図を含んだ資料を作成し、ミニシンポを開催)
大会研究集会	1. 研究協議会「共創時代の都市デザイン像－景観の計画的リビジョン」 実施・資料作成
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 4 年間の 3 年目にあたり、研究協議会の開催に向け WG を組織し議論を重ね、その実施と同資料集の作成を通じて、当初計画を概ね達成したものと考える。 2. 4 年間の成果を次年度の刊行企画に向けて議論を行い、内容の深化と整理を行うことで、当初計画を達成したものと考える。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 地方の委員も多く、また近年各自校務に縛られる日が多くなっており、小委員会の開催に全員の出席が得られ難く、多くは拡大幹事会として集まることとした。 2. 特に WG などで共同研究を育みたいが、その活動のための財源が確保されていない。